

平成 24 年度赤平市議会報告会における「市に対する意見・要望及び回答」

番号	意見・要望	回答
1	<p>平岸東町会館から 30 線入口までの約 370mの歩道の延長を国に対して要望してもらいたい。</p>	<p>国道の歩道整備に関しては、以前にも地域から整備要望があり、北海道開発局札幌開発建設部に対し、これまで幾度か要望した経緯がありますが、道内で同様な箇所は多く整備に向けては優先順位を設けて対応しており、現状は片側に歩道が整備されていることから整備は難しいものと思われるとの回答でありました。</p> <p>今回、地域からそのような要望がありましたことから、再度整備の可能性について協議して参ります。</p>
2	<p>平岸児童館近くの道路の補修は終了しているのか。</p>	<p>市道平岸中央通のことと思われますが、舗装道路部分が凍上等により損傷していることから、昨年一部補修を行いました、今年も引き続き実施する予定です。</p>
3	<p>巡回する等して、空き家の雪害対策をしてもらいたい。</p>	<p>2月23、24日の2日間、調査を実施し、危険な家屋について、それぞれ口頭による指導などを行ったところでありますが、今般の雪害でかなり傷んだ家屋もあるようでございますので、再調査し、実情の把握に努めてまいりたいと考えています。</p> <p>なお、危険家屋の所有者等の法的責任の明確化はもちろん、助言、指導、勧告、公表、更には行政代執行といったことを可能とする条例の制定について、十分に検討していきたいと考えております。</p>
4	<p>5年後、10年後の人口や子どもの数の推移及び学校統廃合計画の資料を、どこかの機会に出してもらいたい。</p>	<p>市広報5月号にて「赤平市立小・中学校適正配置計画」の概要をお知らせしているところですが、紙面の都合上資料の添付はしておりません。</p> <p>市ホームページ上ではありますが「赤平市立小・中学校適正配置計画」を公表しており、資料として計画当時の子ども人口からの将来推計についても掲載しております。</p>

5	<p>市立病院の病棟は耐用年数がきていると思うが、建替えを検討していないのか。</p>	<p>昭和 39 年建設の病棟は老朽化が著しく、燃料費、修繕料など年々経費も増大する上に、患者さんからは苦情が絶えず、男女共用のトイレについても大変ご不便をおかけしております。</p> <p>病棟は昨年より 120 床に再編し、今後この病床数で安定的な病院経営をめざすため、病棟の建替えも含め、そのあり方については、24 年 6 月より内部検討を開始、9 月の経営健全化計画完了報告後、建替えの是非について、市民の皆さんのご意見をいただくよう進めて参ります。</p>
6	<p>市立病院の入院の手続きは親族でなければできないと言われた。 町内会で助け合いたいと考えているが、親族以外はできないのか。</p>	<p>入院手続きの際には病状の説明、緊急時の連絡先、入院証や同意書の記載、減額等に関する手続きなどがあるため、基本的には身内の方が付き添って来られることが望ましいと考えます。</p> <p>しかし、身内の方が遠方であり来られない場合、病状により付き添いが必要な場合などは、緊急時の連絡先など、手続上お聞きしなければならない事項がございますので、状況によっては、親族の方以外でも入院手続きは可能です。</p> <p>病院といたしましても、町内会のご支援ご協力につきましては、大変ありがたいことと考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。</p>
7	<p>東京赤平会の情報が全く入ってこない ので、広報あかびら等で知らせてもらいたい。</p>	<p>今後、広報あかびらを通じてお知らせして参ります。</p>
8	<p>福栄地区は 20 年計画で建替え工事が進行しているが、独居高齢者が多いので、シルバーハウジング的な住宅を建築し、孤独死防止対策をしてもらいたい。</p>	<p>事業の進捗、情勢の変化、移転対象者の減少などから、現計画内容の検討も必要と考えており、平成 26 年度の住生活基本計画策定時に、今後の高齢者対策について福祉部局等とも協議の上、今後のシルバーハウジング等の整備の必要性等についても検討して参ります。</p>

9	<p>エルムダムは、どのような状況になっているのか。</p>	<p>エルムダムの維持管理は、国から事務委託を受け、赤平市・深川市・滝川市・芦別市の4市の管理協定書に基づき、赤平市が基幹水利施設管理事業により、補助金を活用しながら維持管理しております。</p> <p>現在、エルムダムの水を利用して畑で農作物を作っているのは、滝川市・深川市・芦別市の3市となっており、赤平市においては水の利用がありませんが、4市で負担金を出しあって維持管理しております。</p>
10	<p>福栄団地の入居基準は決められていると思うが、身体が不自由でも浴場に来ているような人を、優先的に入居させることはできないのか。</p>	<p>福栄団地は現地建替事業として進めておりますことから、移転対象者は事業進捗を考慮したなかで、早期に除却する団地入居者の方から順次移転をお願いしております。</p> <p>しかし、身体的理由により、早期に移転を希望される方については、他団地とは異なりますが、これまでも優先入居による対応をしております。</p> <p>建替団地への入居については、事業の進捗状況や移転対象者の状況から優先的な入居が可能か検討をしております。</p>
11	<p>公営住宅を建築する際には、除雪当番制にしなくても済むような建て方にしたい。</p> <p>また、物置の雪下ろしや草刈りが住人ではできなくなっているため、助成金制度を設けてもらいたい。</p> <p>また、駐車場管理委託料を引き上げてもらいたい。</p>	<p>公営住宅等の建設にあたっては、国や北海道が定める基準に基づき実施をしておりますが、北国での生活を考慮したものとなっておりますが、除雪が不用となるような建設は難しいものと考えております。</p> <p>物置の雪下ろしや草刈に関する助成金制度等については、持ち家を含む全市的な問題となりますので、財源等を含め難しいと判断しております。</p> <p>駐車場管理委託料については、契約箇所は駐車場使用料の2割、未契約は1割の金額にて自治会と契約をしておりますが、道営住宅や他市町村においては1割の金額となっていることから、現状では額の引き上げは難しいものと考えております。</p>

12	<p>新年度予算の中に、「流政之氏彫刻作品除幕式実行委員会に対する交付金」として約 1,200 万円が計上されているが、今後、エルム高原をどのようにしていくのか。</p>	<p>民間団体では、エルム高原内に彫刻公園を作りたいとの構想もあることから、今後、エルム高原全体の活性化策を検討してまいります。</p>
13	<p>国民健康保険の限度額認定書とは何か。</p>	<p>70 歳未満の方の入院の場合は、「限度額適用認定証」(上位所得・一般) 或いは「限度額適用・標準負担額減額認定証」(住民税非課税) を提示することで医療機関への支払いが自己負担限度額までとなります。</p> <p>70～74 歳の方の入院の場合は、「高齢受給者証」を提示することで医療機関への支払いが自己負担限度額(一般で 44,400 円、現役並み所得者で 80,100 円+1%) までとなります。</p> <p>また、70～74 歳で低所得の方の入院の場合は、「限度額適用・標準負担額減額認定証」を提示することで医療機関への支払いが自己負担限度額(低 I で 15,000 円、低 II で 24,600 円) となります。</p> <p>所得によって異なりますので市民生活課医療保険係にお問い合わせください。</p>
14	<p>公営住宅の家賃を決める際の収入申告書の提出時期は、確定申告の時期と同時期にできないのか。</p>	<p>家賃を決定するための収入申告は、公営住宅法等に基づき、毎年度 10 月 1 日を基準日として前年の所得金額を申告することとなっています。</p> <p>確定申告から職業や家族構成等に変動がない場合は、税務関係公簿を使用することで源泉徴収票などの添付資料は不要となりますが、これも入居者の同意が必要なため、収入申告書に確認印を頂くこととなっておりますので、ご理解いただきたくお願いいたします。</p>
15	<p>桜木山の手通改良舗装工事は、何年度に終了するのか。 また、工事費総額はいくらなのか。</p>	<p>工事の概要としましては、工事区間は道道赤平滝川線交差点からの直線部分 2 区間の約 220m を予定しており、今年度は調査測量を行い、改良舗装工事は今年度からの 2 年若しくは 3 年での完了を目指しております。</p> <p>なお、事業費は 2,700 万円を予定しております。</p>

16	<p>ジェネリック医薬品とは何なのか、患者に分かるように説明してもらいたい。</p>	<p>外来患者さんは、院外調剤薬局の薬剤師が、入院患者さんは病院薬剤師がそれぞれ説明しておりますが、さらにわかり易い説明をするよう心がけて参ります。 既に院外調剤薬局にもそのように対応するよう通知済みです。</p>
17	<p>市立病院の医師と看護師の対応が悪く、丁寧さに欠けていると感じる。</p>	<p>医師・看護師を含め病院職員全員が親切・丁寧な対応を心がけておりますが、今般、行き届かぬ点があり不快な思いをさせていただきましたことに、改めてお詫び申し上げます。 今後も一層、院内にて意見交換や研修会を実施して、患者さんへの接遇の向上、親切・丁寧なサービスの提供をめざして参りたいと思います。</p>
18	<p>市外の人が介護施設に入所した場合の介護保険料はどのようになるのか。 また、たくさんの待機者がいるが、市内・市外の優先順位はどのようになっているのか。</p>	<p>市外から転入し施設入所した場合には、住所地特例の対象者となり、引続き前住所地の介護保険が適用となり、赤平市の負担は発生しません。 また、特別養護老人ホームの愛真ホーム、エルムハイツは広域型の施設となっていることから、市外居住者を入所させない事にはなりません。実態としては両施設の入所者の97%が赤平市民となっています。 なお、赤平市民にあっても、市外の広域型施設等に多数入所している状況にあります。</p>
19	<p>生活保護を受けている人よりも働いている人の方が低い暮らしをしている場合がある。 生活保護受給者の中には、車を乗り回しパチンコをしている人もいるが、市ではどのように指導・監視しているのか。</p>	<p>生活保護は、要保護者等の申請に基づいて開始することが原則となっており、生活保護の基準を下回っていても、ご本人の意思で頑張っている方もいます。 また、生活保護を受けた場合に守らなければならない義務もあり、自動車の保有や運転は原則認めていませんし、かけごとをやめ、生活の維持・向上に努めなければいけません。 福祉事務所では、定期的な家庭訪問により、生活状況の確認や相談・助言を行っており、パチンコ店への頻繁な出入りや、自動車の運転を発見した場合には、厳重に注意し、指示・指導に従わない場合には、生活保護を廃止するケースもあります。</p>

20	<p>赤平市は過去に老人医療費の無料化を実施し、財政をひっ迫させたが、今回、中学生以下の医療費を無料化するにあたり、所得制限を設ける検討はしているのか。</p>	<p>今回、中学生以下の医療費を無料化するにあたり、事業費は約 1,400 万円程度増額すると試算しています。</p> <p>また、所得制限を越える世帯は、3、4 世帯であり、本事業の趣旨が「次代を担う子ども達の健康増進と健やかな育成を図る」ことが目的のため、所得制限を設けないこととしました。</p> <p>なお、事業費の財源として、過疎対策事業債という効果的な財源を活用して参ります。</p>
21	<p>年金は下がり、高額な介護保険料等は負担になっている。</p> <p>市民の痛みを考えて、何事も検討してもらいたい。</p>	<p>介護保険については、人口の減少とともに被保険者が減少する中でも、高齢化が進んでいることにより、介護認定を受ける方が増加し、それに伴い給付費も大幅に増加しています。</p> <p>介護給付費準備基金及び安定化基金を取崩して、負担軽減を図っておりますが、大幅な上昇を抑えることはできない状況にあります。</p> <p>また、保険料軽減の財源として、一般会計から繰入れすることは、保険料減免の3原則に抵触するとして、国で認められておりません。</p>
22	<p>現役世代は働く場がなく大変苦しい生活をしており、自殺する人が増えている。</p> <p>企業誘致を行い、働く場所をもっとつくってもらいたい。</p>	<p>企業の意向調査を実施し、調査に基づく企業訪問や、企業振興促進条例の改正により、環境整備を行っているところですが、現在の経済情勢では厳しい状況にあります。</p> <p>今後も企業誘致に向け粘り強く活動してまいります。</p>
23	<p>中学校 2 校を統合した場合、赤平中学校校舎を利用する予定と聞いているが、赤平中学校は廊下が狭く天井が低い等、環境が悪すぎるので検討してもらいたい。</p>	<p>「赤平市立小・中学校適正配置計画」は、学校教育条件整備審議会からの答申を尊重して策定いたしました。</p> <p>審議会での議論においては、この問題についても話し合われており、本市における種々の条件を想定しながら、議論が行われたものであります。</p> <p>赤平中学校は、現在の中学校校舎で唯一耐震化されておりますが、ご指摘のような意見もあったことから、それを補完するためにも、校舎東側に一部増築を行い校舎環境を少しでも改善し利用して参りたいと考えております。</p>

24	<p>東日本大震災で発生したがれきの受け入れについて、どのように考えているのか。</p>	<p>当市のごみの最終処分場については、容量に余裕がないことから、道に対し受け入れ出来ない旨、回答しております。</p> <p>また、当市を含む5市9町による可燃ごみ処理施設については、完成が平成25年3月であることや災害廃棄物に関する情報が少ないことから、受け入れの検討は行っておりません。</p> <p>今後の方向性としては、工事の進捗状況や施設の処理能力、災害廃棄物に関する情報収集、歌志内市民の皆さんの考え方など織り込んだ上で、どのような協力ができるのか、あるいはできないのか、その内容等について検討していくことになるかと考えています。</p>
25	<p>迷惑行為防止条例を制定し、犬猫の放し飼い等の対応をしてもらいたい。</p>	<p>条例につきましては、北海道において動物の愛護及び管理に関する条例が、市においては畜犬取締及び野犬掃とう条例と廃棄物の資源化・再利用の促進及び適正処理に関する条例がございます。</p> <p>新たな条例につきましては他市の状況などについて体制も含めた検討をしております。</p> <p>放し飼いにつきましては基本的にマナーの問題ですが、今後も情報収集や監視を継続しますとともに、改めて広報などを通じ、飼い主としてのマナーについて周知徹底を図ってまいります。</p>
26	<p>赤平市長も「脱原発をめざす首長会議」に参加表明してもらいたい。</p>	<p>国において代替エネルギーの開発を推進することが必要と考えますが、脱原発の方向性は理解しつつも、現時点では「脱原発をめざす首長会議」の会員には加わらないものであります。</p>